



学校図書館だより

4月号

令和3年4月
柏市立富勢中学校
柏市学校図書館指導員
岩瀬 瞳

すでに新緑が萌えはじめ、目に見える景色は明るく輝いています。1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

いろいろなことが新しくなる4月、みなさんの心にはどんな思いが燃えているのでしょうか。本を読むことは、心の世界を広げ、世界を見る目をあたらしくしてくれます。ぜひそれぞれの心を支える一冊を探してみてくださいね。

ようこそ！富勢中学校図書館



学校図書館館長 高橋 一夫 校長先生
司書教諭 伊藤 昌子 先生
図書委員会担当 1年 薄井先生
2年 稲葉先生
3年 伊藤先生
学校図書館指導員 岩瀬 瞳

※指導員は、
火・水・金曜日9時～14時45分 に来ています。
どうぞよろしくお願ひします。

学校図書館館長

高橋校長先生からのメッセージ

他人の知識が結集された本を読むことで、自分の中に新たな世界を切り開けることがあります。

また一冊一冊地道に本を読んでいき、自らの見識を深め、正しい方向に進めばそこには希望が見え、時には一冊の本との出会いが人生を決めることもあると思います。



★学校図書館からのお知らせ★

4月23日（金）より貸出を始める予定でしたが、まん延防止等重点措置法が柏市に適用されたことにより、当面の間閉館となりました。

感染状況や緊急事態宣言が出されるか等によって今後の対応が変わってきますが、現在今後について検討中です。決まり次第お知らせします。



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。子どもたちのそばにいつでも本があるように、大人が子どもたちに本を手渡す週間でもあります。

きみに手渡したい一冊！

『飛ぶ教室』

エーリッヒ・ケストナー 著 岩波書店〈NDC943〉

「子どもの涙はおとなの涙よりちいさいなんてことはない。」そのことを忘れずにいる大人が語る物語とはどんなお話でしょう。みなさんと同じ十代の子どもたちが主人公です。どうにもできない不運なこともあるけれど、信じられる人との出会いが心を支えてくれる。それぞれの悩みがあり、悲しみがある。著者はナチス政権下に著書を焚書された経験があります。ケストナーからのあたたかなメッセージをぜひ受け取ってください。

『太陽の子』

灰谷健次郎 著 理論社〈NDC913〉

ふうちゃんは神戸生まれの女の子。お父さんとお母さんは沖縄出身で、神戸の下町で琉球料理の店「てだのふあ・おきなわ亭」を営んでいます。やさしい常連さんたちに囲まれて明るく育ったふうちゃんでしたが、六年生になった頃、お父さんが心の病気で苦しむようになってしまいます。ふうちゃんは「沖縄と戦争」にその鍵があることに気づきはじめるのですが…。

「知らなくてはならないことを、知らないで過ごしてしまうような勇気のない人間に、わたしはなりたくありません。」悲しみや苦しさをやさしさにかえて生きる人々がいる。そのことを知った時、あなたは何を思うでしょうか。